



子育て世代を全力でサポート 高崎の子育て支援



まちなかで人気の託児施設を 群馬地域に新たに開設

子育て世代のニーズに合わせて、全国でも例のない独自のサービスを展開している高崎市。今回は、電話一本でヘルパーが自宅に伺ってお手伝いする「子育てSOSサービス」と、理由を問わずに誰でも利用できる託児施設の、それぞれの利用者スタッフの皆さんをお迎えして、お話を伺います。



3歳の保育園児のママ。夫婦ともフルタイムで勤務している。子育てSOSサービスを利用



家事や育児をお手伝いする子育てSOSサービス。ヘルパーとの雑談も楽しみという利用者も多い

ます。
新井 土屋さんのジャガイモの煮物がすごくおいしいんですよ。他のヘルパーさんにもレシピを教えてもらったり、いろいろな話ができるのもうれしいんです。
土屋 アドバイスはできませんが、自分の子育ての経験談を話したり。
市長 ヘルパーの皆さんは、子育ての先輩ですからね。育児に自信をなくしたママが、ヘルパーさんに「良くやってるね」と言ってもらって涙が止まら



子育てSOSサービスのヘルパー。家事と育児の経験を生かして利用者をサポート

りることも大切ですね。
土屋 SOSサービスは妊娠前から利用できます。このサービスを知って3人目の出産に前向きになれたとい

本市独自のサポートを充実 子育て世代の住みやすいまちに

なかつたという話を聞きました。そこまで追い詰められているのかと胸が痛みましたよ。家事の補助も必要ですが、愚痴を聞いてもらったり、情報交換したりということに飢えているのかもしれないですね。
土屋 そうですね。ですから何気ない会話だけで救われると聞くと、良かったなと思います。特にコロナ禍でずっと子どもと家において、人と話す機会がないというママもいるので。
飯塚 けやきでも、少し話したら気持ちが悪くなったという人もいます。お子さんを預かるだけでなく、ママたちの心のケアもできたらと思います。



子育て世代をサポートするために奮闘。安心して子どもを産み育てられるまちづくりに取り組む

市長 子連れだと買い物も一苦労でしょう。
田嶋 はい、私は実家が遠方で頼れないですし、本当に困っていました。娘は1歳5か月なんですけど、手をたなざたがらないしカートも嫌がって、一人でどこへでも行ってしまおうので目が離せないんです。けやきができて、すごく助かっています。

市長 子どもにかかりつきりだと、心身ともに追い込まれてしまう。自分のための時間も必要です。買い物でもコンサートでも自由に使うてほしい。預ける理由はけやきの保育士さんですね。いろいろな方が利用されるでしょう。

飯塚 そうですね。いつも下の子の世話で手一杯なので上の子と過ごす時間をつくりたいと、週末に下の子を預ける人もいます。
市長 なるほど、そういう使い方もあるんですね。

飯塚 他にも、小学校の旗振り当番や銀行の手続きなど、そういうときに利用するのも良い案だと思います。



託児ルーム「けやき」の保育士として子どもたちを見守る。「かしの木」開設時からのスタッフ

う声もいただくんですよ。里帰り出産ができなくて、退院後すぐに来てほしいという人もいます。

新井 家族以外に子どもの成長を見守ってくれる人がいて、すごく心強く感じます。大変なときに支えてもらえるサービスなので、他のパパやママにもぜひ頼ってみてほしいですね。
田嶋 けやきではおむつを用意してもらえたり、食事もお手伝いできます。必要なのは着替えだけなので大助かり。泣いて迷惑をかけるのではと、ためらうママもいますが、保育士さんがいるから安心だと言ってます。

市長 小児科の病院とも連携していますから、その点でも安心ですね。
飯塚 スタッフ一同、少しでもお母さんやお父さんたちの役に立ちたいとアットホームな雰囲気心がけています。ぜひ気軽に利用してほしいですね。

新井 高崎の未就学児向けの子育て支援は、市外のママたちからすごくうらやましがられるんですよ。託児もSOSもとても人気で、特に週末はすぐに予約で埋まっています。

市長 それは改善しなければ。



未就園児の女の子のママ。結婚を機に本市に転入。託児ルーム「けやき」を開設時から利用

電話一本でヘルパーが訪問 頑張るパパやママに息抜きを

市長 「子育てSOSサービス」は3年前にスタートしました。パパやママが育児で疲れて息抜きが必要ときに、電話一本でヘルパーが訪問してお手伝いするというものです。在宅介護の支援で始めた手法の子育て版なんですよ。新井さんはどのように利用されているんですか。

新井 うち共働きなんですけど、休日が違うので、週末は私一人で全部こなしてるんです。それでヘルパーさんをお願いして、一週間分のたまった家事を手伝ってもらっています。

市長 ヘルパーの土屋さんはいろいろなお宅に伺うと思いますが、どんな依頼が多いですか。

土屋 食事の支度や掃除ですね。料理は冷蔵庫にある物でお任せとか、大根と白菜を使い切ったとか、ご要望に応じて何でも。

市長 それは大変そうですね。
土屋 お子さんの好きそうなメニューなども、テレビやネットで研究して

ぜひお願いします。

市長 福祉の充実が、都市の魅力アップにつながると思うんですよ。子育て世代に優しい社会かどうかという目線でまちを歩くと、いろいろなことに気付きます。不妊治療への助成や待機児童の解消などは実態に即して、市独自に進めてきました。新たに始めるヤングケアラーへの支援の他、病児保育の拡充や児童相談所の開設など、やることはまだまだたくさんあります。遊び場も充実させたいですね。現場を見て皆さんのご意見を伺いながら、取り組んでいきますよ。一同 ありがとうございます。

対談の様子を動画で
ご覧いただけます



託児ルームは、まちなかの「かしの木」と群馬地域の「けやき」の2か所。公共の支援にも頼って少しのゆとりを